



2019年度 日本環境変異原学会 公開シンポジウム

生活環境とゲノム安定性の総合理解

～あなたの遺伝子を護る環境変異原研究～

2019年6月8日(土) 9:50 - 16:45

国立がん研究センター 新研究棟 大会議室

(東京都中央区築地 5-1-1)

協賛：公益社団法人 日本薬学会

後援：一般社団法人 日本毒性学会

参加無料
事前申込み不要

プログラム

- 9:50 - 9:55 開会の辞 本間 正充 (日本環境変異原学会 会長 / 国立医薬品食品衛生研究所)
- 9:55 - 10:00 はじめに 杉山 圭一 (世話人 / 国立医薬品食品衛生研究所)
- 10:00 - 10:50 「環境中から検出されるエピジェネティック変異原物質」
.....杉山 圭一 (国立医薬品食品衛生研究所)
- 10:50 - 11:40 「発がん物質投与早期に生じるエピジェネティック変動と
発がんへの役割」
.....渋谷 淳 (東京農工大学)
- 11:40 - 13:15 昼食休憩
- 13:15 - 14:00 「バイオリソースを利用したヒト疾患解析～メタボローム解析からみる
生活環境・脳内環境とアルツハイマー病」
.....永田 有希 (東京医科歯科大学)
- 14:00 - 14:45 「テルペノイドに着目したがん予防物質の探索研究」
.....松本 崇宏 (京都薬科大学)
- 14:45 - 15:00 休憩
- 15:00 - 15:50 「Rasトランスジェニックラットを用いた発がん研究」
.....深町 勝巳 (名古屋市立大学)
- 15:50 - 16:40 「異物代謝酵素ノックアウトマウスを用いた産業化学物質のDNA損傷性解
析」
.....王 瑞生 (労働安全衛生総合研究所)
- 16:40 - 16:45 おわりに 関本 征史 (世話人 / 麻布大学)

世話人：杉山 圭一 (国立医薬品食品衛生研究所)
関本 征史 (麻布大学)
堀端 克良 (国立医薬品食品衛生研究所)

